

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 6日 更新

事務事業名		アニメを活かしたまちづくり事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	工藤一伸
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	政策課	担当者名	渡辺紀子
	施策の柱	66	学習の啓発				所属班	政策班	(内線)	1236
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11544	根拠法令	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ⑪		
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・市に賑わいや市外へPRを行うことを目的に、漫画・アニメ・映像等を活用したイベントの実施。 ・市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作や漫画単行本等を作成し市内、市外にPRを行う。 ・コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。
【業務の流れ】	・市に賑わいをもたらす施策として、本市に縁がある漫画家、映像プロデューサーと熊本県内で活躍されているNPO団体、更には専門性がある大学教授を招きシンポジウムを開催する。
【主な予算費目】	旅費、委託料
【意見や要望】	・漫画やアニメ等を活用した事業は、求めた声がある。 ・この事業は、他の自治体では、あまり取り組まれていなく、将来の市の発展に効果があると思う。 ・コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 県内で漫画・アニメ等のコンテンツでまちづくりを推進する団体と連携し、「熊本県アイコンテンツ協議会」を立ち上げ、活性化のための研修や情報冊子、HPの作成及び現地視察ツアー等に取り組んだ。		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 合志市や県内自治体が一同一に、コンテンツ企業と連携し活性化を図る施策として、地域資源の発掘や磨き上げ行い、コンテンツ企業の「作品」や「企業」の誘致活動を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 協議を行った回数	回	マンガ・アニメなど、コンテンツを活かした地域活性化をめざす熊本MCC(アイ・コンテンツ・協議会)の参画負担に加え、市民サービスの向上及び新たな観光、文化の拠点として「(仮称)合志市マンガミュージアム」の創設に要する委託料を増額している。	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
⇒ イ: 市民	回	⇒ ア: アニメ等関連事業をHPに掲載した件数	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
⇒ イ: 賑わいのあるまちづくりに取り組む	回	⇒ ア: HPを閲覧された回数	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	20	20	30	20	30	30	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア	回	2	4	25	4	30	30	30	30	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	73,949	74,057	80,000	74,165	90,000	95,000	100,000	100,000	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円					10,000			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	913	2,733	626	620	16,626	2,000	2,000	
	(A) 事業費計	千円	913	2,733	626	620	26,626	2,000	2,000	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	正規職員従事人数	人	6	6	5	0	5	5	5	0
		延べ業務時間	時間	1,420	1,910	1,000	0	1,000	1,000	1,000	0
		(B)人件費計	千円	5,657	7,609	3,984	0	3,984	3,984	3,984	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,570	10,342	4,610	620	30,610	5,984	5,984	0	

事務事業名	アニメを活かしたまちづくり事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 アニメ関係機関、県内のアニメ・漫画でまちづくりを目指しているNPO団体等との調整は図られ、事業仕分けで委員から良い評価もあった。しかし、この事業の目標を明確化する必要がある。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 漫画やアニメを活用した取組みについて、市民参画の事業を実施し市民の理解も得られてきた。今後はコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 漫画・アニメを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 一部の受益者を対象とした取組みではないので、公平性は保たれる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 漫画・アニメ文化による賑わいのあるまちづくりに市が努めることには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。

3 評価結果の総括（CHECK）

アニメを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたれると思われるが、出版社等の著作権関係で協力を得てもらうことが非常に難しい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策